

令和 7 年 9 月能代市議会定例会

市 長 説 明 要 旨

令和7年9月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要を御報告いたします。

初めに、大雨の対応についてであります。8月5日、7日及び20日に大雨・洪水警報等が発表され、災害対策本部等を設置し警戒に当たりました。特に20日は、秋田県内において記録的な大雨となり、本市においても土砂災害警戒情報が発表されたことや悪土川、檜山川において氾濫の危険性が高まったことから、悪土川流域や檜山地区、扇渕地区のほか、二ツ井地域のうち土砂災害の危険性が高い地域等を対象に避難指示を順次発令いたしました。市では第四小学校や二ツ井町庁舎を含む7か所に避難所を開設したほか、自主防災組織等が3か所で自主的に避難所を開設し、80名の方が避難されました。20日の大雨の主な被害状況であります。29日現在で、住家の床上浸水2棟、床下浸水26棟、非住家浸水23棟、市道や林道における土砂崩れ等が26か所のほか、農地・農業用施設の土砂堆積や法面崩落が68か所となっております。

この大雨への対応に当たり、消防団には河川の警戒や避難誘導、浸水対策等、正に地域防災の中核として活動していただいております。団員の皆様に対し感謝を申し上げます。これまでの大雨で被害を受けた箇所の早期の復旧に努めるとともに、今後も、関係機関と連携しながら市民の安全・安心の確保に取り組んでまいります。

次に、能代市、三種町及び男鹿市沖における洋上風力発電事業についてであります。8月26日、本事業における事業性再評価を行っている三菱商事洋上風力株式会社、三菱商事株式会社及び株式会社シーテックが来庁し、「事業実現に向けてあらゆる手段を講じて検討を進め、昨今の資材の高騰に対しコスト削減に努めたものの、事業採算性の確保が難しく、プロジェクトを辞退することを決定の上、発表する予定である」との報告があり、27日、その旨報道発表されました。

今回の決定は、想定を大きく上回る環境変化があったことによる判断と考えておりますが、本海域において事業実施に向けた調整が進んでいたところであり、残念であります。一方で、国が2050年カーボンニュートラルを目指し、再生可能エネルギーの主力電源化に向けた切り札に洋上風力発電を位置付けている中、その適地であるという本地域沖の優位性は変わらないと認識しております。

市といたしましては、今後の国の動向を注視し対応していくとともに、洋上風力発電の拠点化に向け、引き続き関連産業の集積、基地港湾の利活用を促進するよう取り組んでまいります。

一般社団法人白神の^わ環地域共生協議会の設立についてであります。本市及び八峰

町における風力発電事業をはじめとする次世代エネルギーの普及を推進し、地域組織等による地域活性化の取組を支援するための団体として、本市及び八峰町のほか、有識者や地元関係者により構成される、一般社団法人白神の環地域共生協議会が8月27日に設立されました。

本協議会では今後、企業からの拠出金等を活用し、地域活性化に向けたセミナーやワークショップの開催のほか、住民や地域組織等が行う地域課題解決に資する取組に対する助言や資金援助等を実施することとしております。こうした取組は、エネルギーのまちづくりの基本指針に合致するものであり、本協議会の活動を通じて、これまで以上に風力発電事業による恩恵を地域の皆様に実感していただけるよう取り組んでまいります。

企業誘致についてであります。8月26日に、県と共に、東北電力リニューアブルエナジー・サービス株式会社へ誘致企業認定書を交付いたしました。

同社は、風力発電設備等の保守・運用事業、教育・訓練等を行っており、この度、浅内に立地する新能代風力発電所の運營業務を受託したことから、能代火力発電所構内に能代事業所が開設されました。今後、洋上風力発電の導入を見据え、保守運用及び教育訓練の拠点とすることも検討するとしております。

本市ではエネルギーのまちを掲げ、地域の活性化に向けた取組を進めており、本事業所の開設により関連産業への波及を期待するところであります。今後も引き続き、風力発電等の関連産業の誘致や地元企業による参入を促進し、地域の更なる産業振興につなげてまいります。

能代駅前でのホテル建設計画についてであります。7月に能代駅前の市有地等においてホテル事業を計画している株式会社デベロップより、「昨今の建築費高騰等を受け、当初計画の四階建て74室から二階建て3棟65室へ変更したい」との連絡がありました。

市といたしましては、変更案は規模が縮小されますが、市有地にある大栄百貨店協同ビルの廃ビル化の懸念が払拭されることに加え、宿泊施設不足の解消や中心市街地の活性化にも効果がありますので、引き続き、早期のホテルオープンに向け、協力してまいりたいと考えております。

令和8年度全国ねぎサミットの招致についてであります。このサミットは、全国のねぎ産地が一堂に会して各産地のPRを通じ、ねぎの消費拡大を図ることを目的に平成22年度から行われております。本市は、23年度から参加し、白神ねぎと能代市の魅力をPRするとともに、各産地との交流を深めております。

本市招致については、今年度の開催に向けて調整を進めておりましたが、初開催を目指す兵庫県朝来市の強い意向に配慮して開催をお譲りしました。白神ねぎの目標販売額20億円達成を受け、今後の更なるブランド力強化や産地化に向けた契機とするため、29年度以来2回目となる開催を目指し、関係団体等と連携しながら招致に努めてまいりたいと考えております。

二ツ井町庁舎空気調和設備改修工事についてであります。施工業者による現場調査、確認を終え、9月1日から工事に着手しております。これにより、来年7月の工事完成まで冷暖房設備の使用ができなくなるほか、正面玄関やエレベーター等の利用を一時的に制限する期間が生じます。工事は1階市民フロア、2階大会議室から着手しておりますが、今後、庁舎内各課の執務室や窓口を順次移動させながら進めることとしております。

また、二ツ井図書館については、10月から半年程度、二ツ井伝承ホールへ移転する予定であります。

来庁者の皆様には御不便をおかけすることとなりますが、利用制限する期間や執務室・窓口の移動等について早期に周知してまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

二ツ井子ども園の民間移管事業者の選定についてであります。応募型プロポーザル方式により事業者を募集したところ1者から応募がありましたが、選定委員会による審査の結果、選考基準に達しなかったため、該当者なしと決定いたしました。園運営の方向性については、今後も出生数の減少が見込まれることから、入所児童数の推移や地域の状況等を見極めながら再検討をしてまいります。

第3次能代市行財政改革大綱の検証及び見直しについてであります。令和5年度から始まった本大綱では、基本目標である持続可能な行財政運営基盤の確立を目指し、41項目の具体的取組を推進してまいりました。一方で、人口減少に伴う税収減等による厳しい財政運営や職員数が減少する中での業務量の増加、多様化する住民ニーズや地域の高齢化等への対応が必要となっております。

こうしたことから、限られた人的資源や財源の中で市政運営を進め、住民ニーズや高齢化社会に対応したサービスを提供していくため、現大綱の検証及び見直しに着手してまいります。

令和7年国勢調査についてであります。10月1日を基準日として、同調査が全国一斉に実施されます。現在、調査を滞りなく実施できるよう準備を進めており、9

月 20 日頃から調査員が各家庭を訪問し、調査票を配布いたします。市民の皆様には、制度の趣旨を御理解の上、10 月 8 日までに、できるだけインターネットまたは郵送での回答に御協力くださるようお願いいたします。

第 70 回全国高等学校軟式野球選手権大会についてであります。8 月 24 日から 29 日まで兵庫県で開催され、西東北代表として能代高等学校軟式野球部が出場いたしました。惜しくも準々決勝で敗退となりましたが、昨年に続き 2 年連続の出場であり、選手、関係者の皆様に心から敬意を表するものであります。市では、同校の大会派遣後援会から派遣費支援の要望を受け、寄附金として 100 万円を予備費から充用し、支出いたしました。

次に、単行議案について御説明いたします。

能代市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正は、地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正に伴い、職員の仕事と育児・介護との両立支援制度を拡充しようとするものであります。

能代市保育所条例の一部改正は、保育施設への入所児童数の減少に伴い、能代市きみまち子ども園を廃止しようとするものであります。

能代市文化会館条例の一部改正は、新たに購入するフルコンサートグランドピアノの使用料の額を定めようとするものであります。

このほか、物品の取得、文化会館自家発電設備等改修工事の請負契約、令和 6 年度の能代市一般会計決算及び特別会計決算の認定、各企業会計決算の認定について提案しております。

次に、令和 7 年度能代市一般会計補正予算案の概要を御説明いたします。

補正第 6 号は、これまでに国、県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業は、当面緊急を要するものについて補正しております。

まず、歳入の主なものとしては、個人市民税及び普通交付税の追加、財政調整基金繰入金の減額、前年度繰越金の追加等であります。

次に、歳出の主なものについて御説明いたします。

総務費においては、財政調整基金積立金 5 億 9,347 万 3 千円を、民生費においては、過年度国庫負担金等返還金として、社会福祉費と児童福祉費を合わせて 2,172 万 6 千円を追加等しております。

農林水産業費においては、夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金 437 万 5 千円を計上したほか、鳥獣被害（農作物）防止対策事業費 745 万 8 千円、農地・農業用施設災害復旧支援事業費補助金 600 万円を追加等しております。

教育費においては、学校給食無償化事業費 3 6 0 万 8 千円を、災害復旧費においては、道路河川災害復旧事業費 2, 0 0 0 万円を追加しております。

補正第 7 号は、8 月 2 0 日からの大雨災害に係る復旧事業について、特に緊急を要するものについて補正しております。

歳入は、公共土木施設災害復旧債の追加で、歳出は、災害復旧費で道路河川災害復旧事業費 1, 3 0 0 万円を追加しております。

補正第 8 号は、8 月 2 0 日からの大雨災害に係る復旧事業について補正しております。

歳入は、社会教育施設災害復旧債の計上、財政調整基金繰入金の追加であります。

歳出の主なものとしては、農林水産業費においては、農地・農業用施設災害復旧支援事業費補助金 2, 1 0 0 万円を、災害復旧費においては、道路河川災害復旧事業費 1, 5 0 0 万円を追加等しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は、補正第 6 号が 7 億 7 1 万 4 千円、補正第 7 号が 1, 3 0 0 万円、補正第 8 号が 4, 5 6 4 万 9 千円となり、これを 7 月専決後の既定予算に加えますと、一般会計の総額は 3 9 1 億 2, 1 7 6 万 7 千円となります。

このほか、令和 7 年度各特別会計補正予算案及び水道事業会計補正予算案につきましては、提案の際、詳細に御説明いたしますので省略させていただきます。

また、承認案件として、専決処分した令和 7 年度能代市一般会計補正予算を提出しております。

以上、よろしく御審議の上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます。